５．練習問題

【課題１】 入力に関する課題

１行を４０文字に設定し、Ａ４縦１枚に収まるように、次の文書を入力し、２Ｃ１６の文書名で保存しなさい。なお、１行目に受験者の氏名を入力すること。

受験者名

日本の南端に位置する沖縄は、九州と台湾の間の亜熱帯ゾーンにある素晴らしいアジアンリゾートとして、多くの観光客で賑わっています。沖縄は１５世紀半ばから約４５０年間、琉球と呼ばれた海洋王国として発展し、中国、日本などアジアの諸国と交流し特色のある文化を育ててきました。当時の史跡や建造物が今も点在し、その繁栄ぶりを偲ぶことができます。

首里城址　王朝時代のシンボルである首里城は、中国の紫禁城に宮殿様式が似ているといわれ、敷地には、歓会門、瑞泉門など１２の門や城外には２つの坊門があり、中央広場には正殿、南殿、北殿などの建物があって、正殿の入り口の大龍柱などには龍をイメージした彫刻が施されていました。これらの建造物は残念ながら沖縄戦で焼失しましたが、その後正確に復元され公園として公開されています。首里城跡は世界遺産に登録されています。

漏刻門　漏刻とは時を知らせるという意味で、当時この門では水時計で時をはかり、時刻を知らせていました。

守礼の門　１５００年中頃に作られ、その後「守礼之邦」の額を掲げたことからこの呼び名となりました。２千円札の図柄にも採用された首里城の代表的な坊門のひとつです。

園比屋武御獄石門　守礼門の後方にある御獄（うたき）という礼拝所のことで、国王が城外に出るとき、旅の安全を祈願したと考えられています。